

## 授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2023 年度

学校名	専門学校金沢美専
学科名	美容学科(2年)

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験 の有無	1年次		2年次		合計
				前期	後期	前期	後期	
選 択	衛生管理	小島 光世	○			30		30
	保健	水本 健一	○			30		30
	香粧品化学	滝口 大輔	○			30		30
	文化論	泉谷 愛子	○			30		30
	美容技術理論	泉谷 愛子	○			30	30	60
	美容実習	田中 美紀	○					510
	ワインディング	小島 光世				30		
	オールウエーブ	水本 健一				30		
	カット	滝口 大輔				60		
	国家試験課題	泉谷 愛子 表 康子					390	
	美容総合技術	田中 美紀	○					240
	<共通> サロンワーク応用	水本 健一				90		
	<ヘアリスト> カット応用Ⅱ	滝口 大輔				30		
	<ヘアリスト> アシスタント実務Ⅱ	泉谷 愛子				120		
	<ブライダル・ヘアメイク> メイク応用	表 康子				60		
	<ブライダル・ヘアメイク> 着付	濱中 佑子				60		
	<ブライダル・ヘアメイク> ブライダルスタイリスト実務Ⅱ					30		
	美容演習	水本 健一	○					60
	クリエイティブスタイルⅡ	田中 美紀				30		
	フォト撮影	滝口 大輔 泉谷 愛子 表 康子				30		
小 計（単位時間）						570	420	990
	接遇・マナー	小島 光世	○			30		30
小 計（単位時間）						30		30
合 計（単位時間）						600	420	1020
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）						360	420	780

	1年次	2年次	合計
合 計（単位時間）	990	1020	2010
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）	930	780	1710

作成者:小島 光世

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理		美容学科アドバンスドスタ ディコース/2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小島 光世
授業の概要				
生活の中に関連する疾病の原因も歴史から紐解き、法律と人が貢献している過去を知る。微生物の種類・構造・生態・特徴を理解し、感染症についても学修する。併せて自分自身でできる予防法も考察する。				
授業終了時の到達目標				
感染症の原因である微生物の理解をすることにより、感染症罹患者及び生活環境に対して、適切な対処方法を取ることができるようになる。新興感染症・再興感染症に関しても理解を深め、これらの理解に基づき、安全で適切な接客方法が考え付くよう修得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く勤務し、また5年以上店長として運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	衛生管理技術 消毒法総論①	消毒とはどういうものか（消毒の原理・意義） 理容・美容の業務と消毒（消毒との関係・適用上の注意点） 消毒法と適用上の注意 消毒法総論まとめ		
2	衛生管理技術 消毒法総論②	理学的消毒法（殺菌法）煮沸消毒・蒸気消毒・紫外線消毒について理解を深める。		
3	衛生管理技術 消毒法各論①	化学的消毒法（殺菌法）アルコールによる消毒・次亜塩素酸ナトリウムによる消毒について理解を深める。		
4	衛生管理技術 消毒法各論②	化学的消毒法（殺菌法）界面活性剤による消毒・グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒について理解を深める。		
5	衛生管理技術 消毒法各論③	すぐれた消毒法とその実施上の注意点について理解を深める。		
6	衛生管理技術 消毒法各論④	理学的消毒法・化学的消毒法についての確認テスト		
7	衛生管理技術 消毒法各論⑤	消毒薬の概要・器具の使い方・希釈法について学ぶ。		
8	衛生管理技術 消毒法実習①	理容所・美容所の消毒について理解する。		
9	衛生管理技術 消毒法実習②	衛生管理について総まとめ 確認テスト		
10	衛生管理技術 衛生管理の実践例	理容所・美容所における衛生管理要領、目的から衛生的取り扱い・消毒から自主的管理についてまで学ぶ。		
11	衛生管理技術	消毒の目的から実践までのまとめ・確認テスト		
12	衛生管理全般	公衆衛生・環境衛生についての総まとめ 国家試験に対応できるように問題の解答と解説を行う		

回	テ ー マ	内 容		
13	衛生管理全般	感染症・衛生管理技術についての総まとめ 国家試験に対応できるように問題の解答と解説を行う		
14	衛生管理全般	衛生管理全般についての総まとめ 国家試験に対応できるように問題の解答と解説を行う		
15	衛生管理全般	衛生管理全般についての総まとめ 国家試験に対応できるように問題の解答と解説を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理 公益社団法人 日本理容美容教育センター		期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	授業の前後には、 予習復習をして習熟を図る事。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健		美容学科/2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	水本 健一

授業の概要

これから学ぶ「保健」は「健康を保つ」という意味です。健康には身体的な意味のほかに、精神的、社会的な健康という面もあります。非常に多面的ではありますが、この授業では人間の美の源泉ともいえる身体的な健康について学んでいきます。  
理容師・美容師は、頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業なので、一般の人以上に解剖学や生理学に関する知識を深めていきましょう。

授業終了時の到達目標

第1編では、人体の構造や機能を全体的に学びその知識を習得することを目標とします。  
第2編では、理容師・美容師の皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品などを使用する業務の特徴から、とくに皮膚や毛髪に関する深い知識を学び習得することを目標とします。

実務経験有無 実務経験内容

有

美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する。

時間外に必要な学修

まずテキストを読み、技術を積み重ねる大きな流れを把握すること。  
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	内容
1	第2編第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	対外保護作用、体温調節作用について学修する。
2	第2編第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能②	知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用について学修する。
3	第2編第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能③	呼吸作用、吸収作用、貯蔵作用、免疫・解毒・排除作用、再生作用、毛、爪のはたらきについて学修する。
4	第2編第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態、精神、栄養、嗜好品、体内病変について学修する。
5	第2編第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健②	皮膚の水分と脂の状態、皮膚・付属器官とホルモンについて学修する。
6	第2編第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健③	皮膚の保護と手入れ、毛・爪の保護と手入れ、子どものおしゃれによる皮膚トラブルについて学修する。
7	第2編 4章～5章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P94～P129) テスト後、解答・解説。
8	第2編第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類、皮膚疾患の原因、皮膚疾患の治療法について学修する。
9	第2編第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患②	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹について学修する。
10	第2編第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患③	口唇の疾患、温熱・寒冷による皮膚障害、角化、色素異常による皮膚疾患について学修する。
11	第2編第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患④	血管腫（アカアザ）、脂腺母斑、下肢静脈瘤について学修する。
12	第2編第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患⑤	分泌異常、化膿菌、ウイルス、真菌による皮膚疾患について学修する。

回	テ ー マ	内 容		
13	第2編第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患⑥	衛生害虫による皮膚疾患、感染症の皮膚疾患の予防、毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍について学修する。		
14	第2編第6章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P132~P180) テスト後、解答・解説。		
15	第1編第2編 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P12~P180) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
保健	公益社団法人 日本理容美容教育センター	確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
化粧品化学（前期）		美容学科／2年	2023／前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>理容・美容の技術を行う際、器具と同様に多用するものが化粧品です。          化粧品とはシャンプー剤、スキンケア剤、カラーリング・パーマ剤等のことで、これらはお客様の髪、肌、爪などの様々な部位において直接使用します。          そのため使い方によっては重大な損傷をあたえる事故につながることもあります。          この授業では美容師として必要な、化粧品の性状や使い分け、社会的な意義や法的な根拠、安全性をどのよ</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が化粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性も含めた安全性についての知識を習得する。          なお、つけまつ毛やまつ毛エクステンション、つけ爪等のネイル製品は化粧品ではないが、身体に直接装着するものであり、つけ外しの容易な装飾品とは異なり化粧品に準ずるものです。そのため、これらについても化粧品と同様に材料と使用方法について知識を習得していきます。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
<p>まずテキストを読み、化粧品を学ぶ大きな流れを把握すること。          講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。</p>				
回	テーマ	内容		
1	3章 基礎化粧品	皮膚清浄用化粧品、化粧水について学修する。		
2	3章 基礎化粧品②	クリーム・乳液、その他の基礎化粧品について学修する。		
3	4章 メイクアップ用化粧品	メイクアップ用化粧品の種類と剤形、ベースメイクアップ化粧品について学修する。		
4	4章 メイクアップ用化粧品②	ポイントメイクアップ化粧品について学修する。		
5	4章 メイクアップ用化粧品③	ポイントメイクアップ化粧品について学修する②。		
6	3章～4章 まとめ	確認テスト 出題範囲（P85～P121） テスト後、解答・解説。		
7	5章 頭皮・毛髪用化粧品	シャンプー剤、スタイリング剤について学修する。		
8	5章 頭皮・毛髪用化粧品②	パーマ剤について学修する。		
9	5章 頭皮・毛髪用化粧品③	ヘアカラー製品について学修する。		
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品④	育毛剤について学修する。		
11	6章 芳香製品と特殊化粧品	芳香製品、特殊化粧品、付録について学修する。		
12	5章～6章 まとめ	確認テスト 出題範囲（P123～P164） テスト後、解答・解説。		

回	テ ー マ	内 容		
13	1章～3章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P9～P104) テスト後、解答・解説。		
14	4章～6章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P105～P164) テスト後、解答・解説。		
15	全章 まとめ	確認テスト 出題範囲 (P9～P164) テスト後、解答・解説。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
香粧品化学 (公社)日本理容美容教育センター		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論(前期)		美容学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷 愛子

授業の概要

人類の歴史の中で理容、美容の変遷の過程を知る事は、現代のそれらを理解するために非常に重要である。特に各時代の人々がどのような時代背景の元でどのような美しさを求めたかを知ることは今求められている「美しさ」を知る手掛かりとなる。

授業終了時の到達目標

どのような時代背景の中で、どのような美しさを求めたのかを知る。  
今、求められている「美しさ」の意味が理解できる。

実務経験有無	実務経験内容
有	美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	内容
1	ファッション文化史 西洋編 近世①	ルネサンスの時代、ヨーロッパの国々は大航海時代を経て飛躍的に豊かになった。大きな流れについて学修。
2	ファッション文化史 西洋編 近世②	17、18世紀の貴族やブルジョアのファッション 洋服の歴史の中でも、バラエティに富んでいる時代を学修。
3	ファッション文化史 西洋編 近世③	貴族の各流夫人の開催するサロンが盛んに開かれ 優雅な社交界には独特な文化の交流がある事を学修。
4	ファッション文化史 西洋編 近代	フランス革命により政治体制が共和制なり、帝制へと 変わっていった事による ファッション、変遷を学修。
5	ファッション文化史 西洋編 現代(1910~1930年代)	新聞・雑誌などのマスコミの力が大きくなり ファッションもマスコミと切り離せない関係を知る。
6	ファッション文化史 西洋編 現代(1930~1940年代)	スターが髪型の流行を先どりし ファッションにも 影響している事を学修する。
7	ファッション文化史 西洋編 現代(1940~1960年代)	映画女優に影響されるスタイルが確立され 巨大ファッションビジネスが誕生した事を学修する。
8	ファッション文化史 西洋編 現代(1960~2010年代)	若者文化に寄り添うヘアスタイル 日本人デザイナーの 活躍を学修する。
9	ファッション文化史 西洋編 和装、洋装の礼装	和装の礼装について学修する。
10	ファッション文化史 西洋編 和装、洋装の礼装	洋装の礼装について学修する。
11	ファッション文化史 西洋編 和装、洋装の礼装	和装、洋装の礼装について復習する。
12	ファッション文化史 日本編	国家試験の試験範囲である日本史の明治時代の理解を深める



回	テ ー マ	内 容		
13	ファッション文化史 日本編	国家試験の試験範囲である日本史の大正時代の理解を深める		
14	ファッション文化史 日本編	国家試験の試験範囲である日本史の昭和時代の理解を深める		
15	まとめ	総合復習		
文化論 公益社団法人日本理容美容教育センター教科書		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 (前期)		美容学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷 愛子 水本 健一
授業の概要				
美容技術においての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる。美容器具の正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術を実際に即して指導し習熟させる。優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する。美容技術においての知識を科学的、サービスを実践する基本と態度を学修、工夫と創造の能力を身につけさせる。髪・カウンセリング・ヘアケアアドバイスの正しい方法と知識を実際に即して考える。優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的見識によって把握されなければならないことを強調する。				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格。美容師としての必要知識と同時に衛生分野である事を意識した仕事ができるようになる。 ヘアケアマイスター プライマリー合格。美容師としての必要知識と同時に接客業を意識した仕事ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	第1章 毛髪化学編①	毛髪の構造と働きを学修		
2	第1章 毛髪化学編②	タンパク質とは PHと毛髪の4つの結合 毛髪のダメージの原因 毛髪のダメージのプロセスを学修		
3	第2章 毛髪のカウンセリング①	毛髪のカウンセリングに対して お客様の(察知)&(デザイン) (問診・視診・触診) 髪質を見極める		
4	第2章 毛髪のカウンセリング②	クセ毛について 髪質と施術時間の関係 ダメージレベル前・後処理の目的 健康な状態とは 診断方法とデータ		
5	第3章 ヘアケア剤①	界面活性剤について シャンプー剤の成分と働き、効果 トリートメント剤の成分と働き、効果		
6	第3章 ヘアケア剤② プライマリー過去問①	スタイリング剤の成分と働き、効果 ホームケアアドバイス 検定対策、過去問の解答・解説		
7	プライマリー過去問②	検定対策、過去問の解答・解説		
8	エステティック①	エステティックの概論、皮膚の生理と構造を理解する。 カウンセリングの大切さを知る		
9	エステティック②	マッサージ理論、マッサージの基本手技 相モデルでの実践練習		
10	エステティック③	フェイシャルエステティック、ボディエステティック エステティックのまとめ (小プリントの回答と解説)		
11	ネイル技術①	ネイル技術の総論、ネイルの教材の種類、 爪の構造と機能の理解フェイシャルエステティック、ボディエステティック エステティックのまとめ (小プリントの回答と解説)		

回	テ ー マ	内 容		
12	ネイル技術②	前回の復習も兼ねた爪の構造と機能を修得する		
13	ネイル技術③	アーティフィシャル技術と道具の名称		
14	ネイル技術④	アーティフィシャルネイル技術の手順		
15	ネイル技術⑤	手と足のマッサージを修得する ネイル技術のまとめ（小プリントの回答と解説）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論2（公益財団法人 日本理容美容教育センター） ヘアケアマイスターブック（日本ヘアケアマイスター協会）		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	前回の復習を行う 小テストの問題は全問正解できるように なるまで反復練習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 (後期)		美容学科アドバンスドスタ ディコース/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷 愛子
授業の概要				
美容技術においての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる。美容器具の正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術を実際に即して指導し習熟させる。優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格。美容師として必要知識と同時に衛生分野である事を意識した仕事ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	メイクアップ①	メイクアップの総論、皮膚の構造、メイクアップ道具を学修する		
2	メイクアップ②	ベースメイクとファンデーションの基礎知識を修得する		
3	メイクアップ③	アイメイクアップとまつ毛エクステンションの基礎知識の修得する		
4	メイクアップ④	メイクアップ技術のまとめ (小プリントの回答と解説)		
5	日本髪①	日本髪の由来、各部名称を覚える 日本髪の装飾品と日本髪の結髪技術の知識を学修		
6	日本髪②	日本髪のまとめ (小プリントの回答と解説)		
7	日本髪③	日本髪のまとめ (小プリントの回答と解説) 期末テスト対策		
8	着付けの理論と技術①	気付けの目的、礼装の種類 帯の種類と小物の名称を知ってもらう		
9	着付けの理論と技術②	着物各部名称、着物のたたみ方、着付けの一般要領の理解、		
10	着付けの理論と技術③	婚礼着付けの注意事項を知ってもらう 和装花嫁、洋装花嫁		
11	着付けの確認テスト 技論2の総まとめ	練習問題を通して着付けのまとめをしていく 国試対策をする		
12	確認テスト① 国家試験対策	ミニプリント (カッティング基礎詩論、パーマメントウェーピングの理論、ヘアカラーリング概要) 解答・解説		

回	テ ー マ	内 容		
13	確認テスト② 国家試験対策	ミニプリント（ヘアセッティング、エステティック概論・ネイル技術概論・メイクアップ概論、着付けの理論と技術）解答・解説		
14	確認テスト③ 国家試験対策	総合復習		
15	確認テスト④ 国家試験対策	総合復習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 2 公益社団法人日本理容美容教育センター		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	前回の復習を行う 小テストの問題は全 問正解できるように なるまで反復練習す る

作成者:田中 美紀

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(ワインディング)		美容学科/2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/表 康子
授業の概要				
美容技術の基礎、応用を実習を通して体得していく。理論と知識を活用し、裏付けのあるものにする。前期はワインディング技術に加え、オールウェーブセッティング技術・カット技術の修得の為にワインディング技術に特化した技術を学修する。なお3課題は、美容師国家試験課題に含まれる。				
授業終了時の到達目標				
国家試験の合格を念頭に置きながら、サロンワークに活用できる技術が身に付く。衛生の技術を向上・修得を実現する。定期的な技術チェックを受けワインディングの技術が向上する。評価基準に基づき、能力が身に付く。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷・表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	国家試験第2課題 ワインディング(22分)①	ブロッキング2分・1本22秒巻き・ロッド両端の毛束の状態、シェーブの角度、方向・スライス線・構成の練習。毛幅を広く巻き上げるために指の使い方を考える。		
3~4	国家試験第2課題 ワインディング(22分)②	ブロッキング2分・1本22秒巻き・ロッド両端の毛束の状態、シェーブの角度、方向・スライス線・構成の練習。毛幅を広く巻き上げるために指の使い方を考える。		
5~6	国家試験第2課題 ワインディング(20分)③	ブロッキング2分・1本20秒巻き・ワインディング18分 タイム内に仕上げることで、ベースの中心とロッドの中心が接点になるように巻く。		
7~8	国家試験第2課題 ワインディング(20分)④	ブロッキング2分・1本20秒巻き・ワインディング18分 タイム内に仕上げることで、ベースの中心とロッドの中心が接点になるように巻く。		
9~10	国家試験第2課題 ワインディング(20分)⑤	全頭通して20分でタイム計測。シェーブの角度、方向・ロッド両端の毛束の状態、スライス線・構成の練習。		
11~12	国家試験第2課題 ワインディング(20分)⑥	全頭通して20分でタイム計測。シェーブの角度、方向・ロッド両端の毛束の状態、スライス線・構成の練習。		
13~14	【定期チェック1】国家試験第2課題 ワインディング(20分)⑦	中間試験の実施。全頭20分。シェーブの角度、方向・ロッド両端の毛束の状態・スライス線・構成の考察。		
15	【定期チェック2】国家試験第2課題 ワインディング(20分)⑧	期末試験の実施。全頭20分。シェーブの角度、方向・ロッド両端の毛束の状態・スライス線・構成の考察。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 公益社団法人 日本理容美容教育センター		定期チェック1 定期チェック2 定期試験	10.0% 10.0% 80.0%	

作成者: 田中 美紀

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(オールウェーブ)		美容学科/2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/表 康子
授業の概要				
美容技術の基礎、応用を実習を通して体得していく。理論と知識を活用し、裏付けのあるものにする。前期はワインディング技術に加え、オールウェーブセッティング技術・カット技術の修得の為にオールウェーブセッティング技術に特化した技術を学修する。なお3課題は、美容師国家試験課題に含まれる。				
授業終了時の到達目標				
国家試験の合格を念頭に置きながら、サロンワークに活用できる技術が身に付く。衛生の技術を向上・修得を実現する。定期的な技術チェックを受けオールウェーブセッティングの技術が向上する。評価基準に基づき、能力が身に付く。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷・表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(40分)①	タイム内・ループ、バランスの考察。 7段構成の実習、構成ごと練習。		
3~4	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(40分~35分)②	タイム内・カールの考察。 7段構成の実習、構成確認		
5~6	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(35分)③	タイム内・カールとウェーブの考察。 7段構成の展示、実習、構成確認		
7~8	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(30分)④	タイム短縮・バランス向上練習。 実習、構成確認		
9~10	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(30分)⑤	タイム短縮・バランス向上練習。 実習、構成確認(第6, 7段の理解の考察)		
11~12	【定期チェック1】国家試験第2課題 オールウェーブ実践(30分)⑥	中間試験の実施。タイム内・バランス仕上がり条件考察。 7段構成の展示、実習、構成確認。		
13~14	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(25分)⑦	タイム内・バランス仕上がり条件考察。 7段構成の展示、構成確認。		
15	【定期チェック2】国家試験第2課題 オールウェーブ実践(25分)⑧	期末試験の実施。タイム内・バランス仕上がり条件考察。 7段構成の展示、構成確認。試験。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 公益社団法人 日本理容美容教育センター		定期チェック1 定期チェック2 定期試験	10.0% 10.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(カット)		美容学科/2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/表康子
授業の概要				
美容技術の基礎、応用を実習を通して体得していく。理論と知識を活用し、裏付けのあるものにする。前期はワインディング技術に加え、オールウェーブセッティング技術・カット技術の修得の為にカット技術に特化した技術を学修する。なお3課題は、美容師国家試験課題に含まれる。				
授業終了時の到達目標				
国家試験の合格を念頭に置きながら、サロンワークに活用できる技術が身に付く。衛生の技術を向上・修得を実現する。定期的な技術チェックを受けカットの技術が向上する。評価基準に基づき、能力が身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	国家試験第1課題 カット実践①	セッティング・シザーの開閉・カットを行う運動動作・シェーブ		
3~4	国家試験第1課題 カット実践②	シザーズ開閉(インサイド、アウトサイド)。		
5~6	国家試験第1課題 カット実践③	シザーズ開閉(インサイド、アウトサイド)。オーバーダイレクション		
7~8	国家試験第1課題 カット実践④	ブロッキング10分~5分。シザーズ開閉(インサイド)。国家試験課題レイヤーカットの作業手順の説明。レイヤーカットの技術展示・実習(ブロッキング、アウトライン、第3ブロック)		
9~10	国家試験第1課題 カット実践⑤	ブロッキング5分。シザーズ開閉(インサイド)。国家試験課題レイヤーカットの作業手順の説明。レイヤーカットの技術展示・実習(ブロッキング、アウトライン、第3ブロック)		
11~12	国家試験第1課題 カット実践⑥	ブロッキング5分~2分。シザーズ開閉(インサイド)。国家試験課題レイヤーカットの作業手順の説明。レイヤーカットの技術展示・実習(ブロッキング、アウトライン、第3ブロック)		
13~14	国家試験第1課題 カット実践⑦	ブロッキング2分。シザーズ開閉(インサイド)。国家試験課題レイヤーカットの作業手順の説明。レイヤーカットの技術展示・実習(ブロッキング、アウトライン、第3ブロック)		
15~16	国家試験第1課題 カット実践⑧	全頭カット 点と点、線と線のつながり向上を意識する。		
17~18	国家試験第1課題 カット実践⑨60分	タイム60分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
19~20	国家試験第1課題 カット実践⑩60分	タイム60分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
21~22	国家試験第1課題 カット実践⑪50分	タイム50分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		



回	テ ー マ	内 容		
23～ 24	国家試験第1課題 カッティング実践⑫45分	タイム45分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
25～ 26	国家試験第1課題 カッティング実践⑬40分	タイム40分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
27～ 28	国家試験第1課題 カッティング実践⑭35分	タイム35分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
29～ 30	国家試験第1課題 カッティング実践⑮30分	タイム30分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 公益社団法人 日本理容美容 教育センター		定期チェック 期末試験	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(国家試験対策)(後期)		美容学科/2年	2023/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	195回	390単位時間	必須	田中美紀/小島光世/谷知里/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
<p>○オールウェーブセッティング/技術の条件、全体のバランス、頭部の縦3等分、フィンガーウェーブ構成、ピンカール構成、ピンニングの状態、時間内</p> <p>○ワインディング/技術の条件、ロッドの種類、配列、方向性、ステムの角度、巻き収め、ブロッキングの理解、輪ゴムの掛け方、時間内</p> <p>○カッティング/技術の条件、カットラインの繋がり、長さの正確さ、仕上がりの美しさと時間内</p> <p>○衛生技術/モデルウィッグ、身なり、用具類、試験実施中、試験終了後の衛生技術習得</p>				
授業終了時の到達目標				
オールウェーブセッティング・ワインディング・カッティングの3課題技術を習得することで、現場の基礎技術が身に付く。衛生技術の向上、身なりの衛生・身体の衛生・用具類の衛生を項目ごとに理解でき、現場の基礎技術が身に付く。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	国家試験対策 衛生試験対策	国家試験課題の衛生試験についての説明。 道具の準備とセッティングについて		
3~4	国家試験対策 第2課題 ①オールウェーブ実践(25分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 7段構成の展示、ウェーブ構成、頭部の縦1/3確認。		
5~6	国家試験対策 第2課題 ①ワインディング(20分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 未完成部分がない 巻き残しがない。		
7~8	国家試験対策 第1課題 ①カッティング実践(20分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 長さ(10cm・14cm)、つながり、切り残し確認。		
9~10	国家試験対策 第2課題 ②オールウェーブ実践(25分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 ハーフウェーブ、フィンガーウェーブ構成確認。		
11~12	国家試験対策 第2課題 ②ワインディング(20分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 スライスの角度、方向性、スライスの正確さ。		
13~14	国家試験対策 第1課題 ②カッティング実践(20分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 長さ(8cm・12センチ)、つながり、切り残し確認。		
15~16	衛生対策授業 ①(第1課題審査項目)	国家試験の衛生試験について考察する。 (第1課題中心)		
17~18	衛生対策授業 ②(第2課題審査項目)	国家試験の衛生試験について考察する。 (第2課題中心)		
19~20	国家試験対策 第2課題 ③オールウェーブ実践(25分)	タイム内2回。全体バランス向上練習 ピンカール、ループ・ステム・カールスペース構成確認		

回	テーマ	内容
21～ 22	国家試験対策 第2課題 ③ワインディング(20分)	タイム内 全体バランス向上練習 スライスの正確さ、ロッドの巻き収め状態、構成確認。
23～ 24	国家試験対策 第1課題 ③カッティング実践(20分)	タイム内2回。全体バランス向上練習 長さ(6cm・10cm)、つながり、切り残し確認。
25～ 26	実技模擬授業 ①(衛生審査、第1, 2課題)	試験の準備、施術時間、片付け等、国家試験全般について考察する。
27～ 28	実技模擬授業 ②(衛生審査、第1課題)	モデルウィッグの考察。 ブロッキングを考察。施術のデモンストレーション。
29～ 30	衛生・実技授業 ①(第1, 2課題 衛生審査項目)	試験の準備、施術時間、片付け等考察する。 実技練習を実施。
31～ 32	実技模擬授業 ③(衛生審査、第2課題)	タイム内を2回。 全体バランス見直し。 構成・規定、前回の修正点から考察する。
33～ 34	実技模擬授業 ④(衛生審査、第2課題)	タイム内を3回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察する。
35～ 36	実技模擬授業 ⑤(衛生審査、第2課題)	タイム内を4回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察する。
37～ 38	衛生・実技授業 ②(審査項目)	準備時間前のモデルウィッグ審査、準備作業 について考察。実技練習を実施。
39～ 40	衛生・実技授業 ③(審査項目)	身体及び服装等の概要、頭髪、手指の状態の考察する。 実技練習を実施。
41～ 42	実技模擬授業 ⑥(衛生審査、第1・2課題)	タイム内を4回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察する。
43～ 44	衛生・実技授業 ④(審査項目)	爪の清潔保持、作業衣の着用状態を考察する。 実技練習を実施。
45～ 46	実技模擬授業 ⑦(衛生審査、第1・2課題)	タイム内を4回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察。
47～ 48	衛生・実技授業 ⑤(審査項目)	衣服・履物の作業適正状態を考察する。 実技練習を実施。
49～ 50	実技模擬授業 ⑧(衛生審査、第1・2課題)	タイム内を4回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察。
51～ 52	衛生・実技授業 ⑥(審査項目)	装飾品の装着禁止、手指消毒を考察する。 実技練習を実施。
53～ 54	準備・実施・取り扱いの実習 ①受験案内配布、説明。	願書提出までの流れ、受験票、準備物、規則を考察する。 実技、筆記試験までの流れを考察する。
55～ 56	準備・実施・取り扱いの実習 ②準備物、取り扱い、条件の共有。	準備作業・技術の条件・衛生上の取り扱いを考察する。
57～ 58	衛生・実技授業 ⑦(審査項目)	自己採点と改善点、自己評価/他者評価を考察する。 第1, 2課題反復練習。
59～ 60	衛生・実技授業 ⑧(審査項目)	自己採点と改善点の考察。 技術の適合を見る。チーム編成と技術の考察する。
61～ 62	衛生・実技授業 ⑨(審査項目)	自己採点と改善点、他者採点と改善点の考察する。 実技練習の実施。
63～ 64	衛生・実技授業 ⑩(審査項目)	自己採点と改善点・他者採点と改善点の考察。 規定タイム内で行う、自己チェックの説明と考察する。

回	テ ー マ	内 容
65～ 66	衛生・実技授業 ⑪(審査項目)	落下用具類の消毒・使用許可、出血応急処置の考察する。 実技練習の実施。
67～ 68	衛生・実技授業 ⑫(審査項目)	自己採点と改善点・他者採点と改善点の考察。 規定タイム内で行う、自己チェックの考察と実施。
69～ 70	衛生・実技授業 ⑬(審査項目)	自己採点と改善点・他者採点と改善点の考察。 規定タイム内で行う、自己チェックの考察と実施。
71～ 72	衛生・実技授業 ⑭(審査項目)	用具類の貸借・追加取り出し、迷惑行為、衛生面に配慮した 作業姿勢を考察。実技練習の実施。
73～ 74	準備・実施・取り扱いの実習 ③準備物、取り扱い、条件の共有。	受験の流れ・受験場所・準備物・集合時間・衛生上の取り扱 い、技術条件の考察。
75～ 76	実技模擬授業 ⑧(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から自己採点と改善点を考察する。 衛生上の取り扱いを考察。
77～ 78	実技模擬授業 ⑨(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から他者採点と改善点を考察する。 衛生上の取り扱いを考察。
79～ 80	実技模擬授業 ⑩(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から他者採点と改善点を考察する。 衛生上の取り扱いを考察。
81～ 82	実技模擬授業 ⑪(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から自己採点と改善点の考察する。 技術終了時間2分前終了を目指す。
83～ 84	衛生・実技授業 ⑮(審査項目)	作業の指示違反、汚物入れの収納状況、作業終了後の用具類 収納状況の考察する。実技練習の実施。
85～ 86	実技模擬授業 ⑫(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から自己採点と改善点の考察。 技術終了時間2分前を目指し、チェック項目の考察する。
87～ 88	衛生・実技授業 ⑯(審査項目)	出血事故の処理状況、その他審査項目の考察。 実技練習の実施。
89～ 90	準備・実施・取り扱いの実習 ④準備物、取り扱い、条件の共有。	衛生上の取り扱い、技術条件、準備物、作業の進め方、課題 作業終了後の遵守事項の考察する。
91～ 92	衛生・実技授業 ⑰(審査項目)	準備時間前、準備時間中、試験作業時間中、作業終了後の注 意点の考察する。
93～ 94	衛生・実技授業 ⑱(審査項目)	準備物不足がないように、ウィッグ、道具・身なり、髪の考 察。実技練習の実施。
95～ 96	衛生・実技授業 ⑲髪衛生・作業姿勢	道具・身なり・白衣の清潔さを考察する。 実技練習の実施。 作業姿勢の考察する。
97～ 98	衛生・実技授業 ⑳用具 使用方法	道具・身なり、用具の汚れ、用具の使い方の考察する。 実技練習の実施。
99～ 100	衛生・実技授業 ㉑用具数の確認	道具・身なり、用具の数を考察する。 実技の考察。(技術の条件)
101～ 102	衛生・実技授業 ㉒クランプ	道具(クランプ)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
103～ 104	衛生・実技授業 ㉓コーム	道具(コーム)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
105～ 106	衛生・実技授業 ㉔ユリア皿	道具(ユリア皿)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
107～ 108	衛生・実技授業 ㉕ウィッグ	道具(ウィッグの顔面)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)

回	テ ー マ	内 容
109～ 110	衛生・実技授業 ②⑥靴、白衣	道具（白衣・うち履きの汚れ）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
111～ 112	衛生・実技授業 ②⑦黒パンツ	身なり（黒パンツの長さとうち履きの汚れ）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
113～ 114	衛生・実技授業 ②⑧黒バック	道具（レジーナバックの中の汚れ）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
115～ 116	衛生・実技授業 ②⑨爪	身なり（爪の長さ）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
117～ 118	衛生・実技授業 ③⑩クランプ	道具（クランプ）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
119～ 120	衛生・実技授業 ③⑪水スプレー	道具（水スプレー）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
121～ 122	衛生・実技授業 ③⑫予備用具	道具（予備道具）の考察する。 実技の考察する。（技術の条件）
123～ 124	衛生・実技授業 ③⑬ピン類	道具（シングルピン・シルバーピン）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
125～ 126	衛生・実技授業 ③⑭汚物入れ	道具（汚物・汚物入れの取り扱い）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
127～ 128	衛生・実技授業 ③⑮タオル	道具（タオルの使い方、指を拭く等）の考察する。 実技の考察する。（技術の条件）
129～ 130	衛生・実技授業 ③⑯髪	身なり（髪をジェル・スプレーでまとめる。おでこを出す等）の考察。実技の考察する。（技術の条件）
131～ 132	国家試験対策 第2課題 ⑤	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
133～ 134	国家試験対策 第1課題 ⑤カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
135～ 136	国家試験対策 第2課題 ⑥	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
137～ 138	国家試験対策 第1課題 ⑥カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
139～ 140	国家試験対策 第2課題 ⑦	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
141～ 142	国家試験対策 第1課題 ⑦カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察。
143～ 144	国家試験対策 第2課題 ⑧	タイム内2回計測。全体バランス、構成考察する。
145～ 146	国家試験対策 第1課題 ⑧カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察。
147～ 148	国家試験対策 第2課題 ⑨	タイム内2回計測。全体バランス、構成考察。
149～ 150	国家試験対策 第1課題 ⑨カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察。
151～ 152	国家試験対策 第2課題 ⑩	タイム内2回計測。全体バランス、構成考察。

回	テーマ	内容
153～ 154	国家試験対策 第1課題 ⑩カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
155～ 156	国家試験対策 第2課題 ⑪	タイム内2回計測。全体バランス、構成考察する。
157～ 158	国家試験対策 第1課題 ⑪カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
159～ 160	国家試験対策 第2課題 ⑫	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
161～ 162	国家試験対策 第1課題 ⑫カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
163～ 164	国家試験対策 第2課題 ⑬	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
165～ 166	国家試験対策 第1課題 ⑬カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
167～ 168	国家試験対策 第2課題 ⑭	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
169～ 170	国家試験対策 第1課題 ⑭カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
171～ 172	国家試験対策 第2課題 ⑮	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
173～ 174	国家試験対策 第1課題 ⑮カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
175～ 176	国家試験対策 第2課題 ⑯	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
177～ 178	国家試験対策 第1課題 ⑯カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
179～ 180	国家試験対策 第2課題 ⑰	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
181～ 182	国家試験対策 第1課題 ⑰カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
183～ 184	国家試験対策 第2課題 ⑱	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
185～ 186	国家試験対策 第1課題 ⑱カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
187～ 188	国家試験対策 第2課題 ⑲	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
189～ 190	国家試験対策 第1課題 ⑲カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
191～ 192	国家試験対策 第2課題 ⑳	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
193～ 194	国家試験対策 通し練習	国家試験の本番を想定した通しの練習を行う。
195	国家試験対策 通し練習	国家試験の本番を想定した通しの練習を行う。

回	テ ー マ	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	教科書・教材			
美容技術理論 1 美容教育センター	公益社団法人 日本理容	模擬試験 模擬試験 模擬試験 期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) サロンワーク応用 (通年)		美容学科/2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90単位時間	必須	表 康子/水本 健一
授業の概要				
サロンでの学外実習を通じ、美容師の仕事の実態を知る。 現場での職場体験を通じ、美容師に必要なスキルを把握し、今後の学修に活かす。				
授業終了時の到達目標				
美容師の仕事に必要なスキルを理解し、今後の学校生活において自己が改善すべき課題、高めるべきスキルについて理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
毎日の実習の振り返りをその日のうちに行う				
回	テーマ	内容		
1~ 2	学外実習導入	学外実習を受ける際の注意点、着眼点について整理し、自身の目標を設定する。		
3~ 6	学外実習1日目	現場でのサロンワークを通じて実践力を身につける。 サロンにおける仕事の内容・流れを理解する。		
7~ 10	学外実習2日目	1日目の反省点を振り返り、気づきの幅を増やす。 積極的に声をかけ、仕事をもらう姿勢を重視する。		
11~ 14	学外実習3日目	2日までを振り返り、仕事の質を高める。 任された仕事を責任を持ってやり遂げる。		
15~ 16	学外実習4日目	3日までを振り返り、仕事の質を高める。 任された仕事を責任を持ってやり遂げる。		
17~ 18	学外実習5日目	4日までを振り返り、仕事の質を高める。 任された仕事を責任を持ってやり遂げる。		
19~ 20	学外実習振り返り	学外実習の振り返りから、今後の自分の課題を把握する。		
21~ 22	カラー・ブリーチ①	ウィッグにてパーマ・サロン巻き、巻き方		
23~ 24	カラー・ブリーチ②	ウィッグにてパーマ・サロン巻き・薬剤塗布		
25~ 26	カラー・ブリーチ③	作品作り・デザイン確定 グカット	ウィツ	
27~ 28	ストレートアイロン①	カラー理論・ブリーチ・作品作り ブリーチ薬剤塗布		
29~ 30	ストレートアイロン②	作品作り・オンカラー薬剤塗布		



回	テ ー マ	内 容		
31~ 32	バックシャンプー①	縮毛矯正ストレートアイロンテクニック		
33~ 34	バックシャンプー②	縮毛矯正・薬液塗布		
35~ 36	バックシャンプー③	マニュアルをベースに手の動きを確認。 クシャンプーの感覚を学修する。		バック
37~ 38	バックシャンプー④	まずは髪の毛を均等に濡らす練習。 のかけ方や水が顔にはねない角度などを学修する。		声
39~ 40	バックシャンプー⑤	手の動かし方や力の入れ方の違いを学修する。		
41~ 42	バックシャンプー⑥	ホットタオル、トリートメントを学修する。		
43~ 44	バックシャンプー⑦	バックシャンプーでのヘッドスパ。 マニュアルをベースに手の動きを確認。		マ
45	バックシャンプー⑧	バックシャンプーでのヘッドスパ 護者感謝会に向けて		保
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 公益財団法人日本理容美容教育		期末試験 実習・実技評価	70.0% 30.0%	授業の前後には予 習、復習して習熟を 図る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)カット応用Ⅱ (通年)		美容学科/2年	2023/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	選択	表 康子/水本 健一/滝口大輔
授業の概要				
<p>サロン業務で使われるカット技術と理論を習得する。          就職した際に学ぶであろうカット、サロン内で信頼されるアシスタント、お客様に支持されるスタイリストになる為          の身につけるべき技術の応用に向けヘアスタイルの構成や流行・スタイリング合わせを学修する。</p>				
授業終了時の到達目標				
ヘアスタイルの構成、展開図、毛量調整や質感、ヘアスタイリングの方法が身につく ヘアデザインを開発する基本的な素養が身につく。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表・滝口はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内 容		
1～ 2	野沢カット・ミディアムレイヤー 予習	構成・展開図・デモンストレーション カット実践 展開図を描き 頭の丸み理解し 引きだす角度を理解していく。		
3～ 4	野沢ゼミ・ミディアムレイヤー	学校長による、課題のデモンストレーション デモの後、課題の実践、学修する。		
5～ 6	野沢カット・前下がりにライン	構成・展開図・デモンストレーション カット実践 展開図を描き前下がりにラインを最初から最後まで 通してカット、前下がりにラインを学修する。		
7～ 8	野沢ゼミ・前下がりにライン 復習	学校長によるデモンストレーション 間近でデモを見ながら、質問学修する。		
9～ 10	野沢カット・ベリーショート	構成・展開図・デモンストレーション 学生にスタイルの仕上がりイメージさせる。 カット実践 展開図意識させ、手順確認していく。 髪の毛の動きについても学修する。 カットするときの姿勢 手順を理解し、スタイルを学修する。		
11～ 12	野沢カット・ツーブロック 予習	構成・展開図・デモンストレーション 学生にスタイルの仕上りをイメージさせる。 カット実践 カットするときの姿勢 手順を確認し、スタイルを学修する。 展開図意識させ、手順確認していく。 刈上げのバランス意識。		
13～ 14	野沢ゼミ・ベリーショート・ツーブ ロック 復習	学校長によるデモンストレーション 間近でデモを見ながら、質問し学修する。		
15	野沢ゼミ・検定	初級スタイリスト検定		

回	テ ー マ 教科書・教材	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	野沢道生 スタイルブック	確認テスト 期末テスト	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)アシスタント実務Ⅱ (通年)		美容学科/2年	2022/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	選択	表 康子/水本 健一
授業の概要				
美容室でのアシスタントの役割を理解し、アシスタント業務を修得する。 チームでサロンワークを実施することにより、サロンにおけるチームワークを学修する。 ひとりではなく、複数人が関わりながらお客様をもてなすことで、接客面、スタッフ同士の連携などの気づきを増やし、自身の経験につなげていく				
授業終了時の到達目標				
接客業務、特にアシスタントの業務内容を理解し、実際の場で活用できる。 お客様に対する気配りの在り方が身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	学内サロンオープンに向けて①	学内サロンの振り返り・改善点・課題を検討する		
3~4	サロン開設に向けての準備	提供するメニュー内容の考案、メニュー表の作成 装・小物・等の準備	内	
5~6	学内サロンオープンに向けて②提案	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
7~8	学内サロンオープンに向けて③提案	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
9~10	学内サロンオープンに向けて④提案	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
11~12	アイロンワーク、アレンジ	コテの基本的な使い方を修得し、ウィッグ使用して内巻き、外巻きをアレンジをマスターする。		
13~14	学内サロンオープンに向けて⑥	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
15~16	学内サロンオープンに向けて⑦	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
17~18	学内サロンオープンに向けて⑧	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
19~20	学内サロンオープンに向けて⑨	チームでサロンワークに向けての最終チェック行い、実践に向けた目標を設定する。		
21~22	学内サロンオープンに向けて⑩	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
23~24	学内サロンオープンに向けて⑪	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		

回	テーマ	内 容		
25~ 26	学内サロンオープンに向けて⑫	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
27~ 28	学内サロンオープンに向けて⑬	サロンワークを実施する。サロンワークの振り返り、お客様アンケートを含めて次回に向けての改善点・課題を検討する		
29~ 30	学内サロンオープンに向けて⑭	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
31~ 32	学内サロンオープンに向けて⑮	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
33~ 34	学内サロンオープンに向けて⑯	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
35~ 36	学内サロンオープンに向けて⑰	課題の解決に向けての練習・チェックをロープレを通じて行う。次回に向けた集客・運営面での対策を図る		
37~ 38	学内サロンオープンに向けて⑱	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
39~ 40	学内サロンオープンに向けて⑲	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
41~ 42	学内サロンオープンに向けて⑳	接客ロープレ・提案・相モデル ヘッドスパ、サイドシャンプー、ドライ、ブロー		
43~ 44	学内サロンオープンに向けて㉑	保護者感謝会に向けて		
45~ 46	学内サロンオープンに向けて㉒	保護者感謝会に向けて		
47~ 48	学内サロンオープンに向けて㉓	保護者感謝会に向けて		
49~ 50	学内サロンオープンに向けて㉔	保護者感謝会に向けて		
51~ 52	学内サロンオープンに向けて㉕	保護者感謝会に向けて		
53~ 54	野沢ゼミに向けて	履修した8スタイルの中から1スタイルが検定課題となる ダイヤモンド		
55~ 56	野沢ゼミに向けて	履修した8スタイルの中から1スタイルが検定課題となる 前下がリライン		
57~ 58	野沢ゼミに向けて	履修した8スタイルの中から1スタイルが検定課題となる ベリーショート		
59~ 60	野沢ゼミに向けて	履修した8スタイルの中から1スタイルが検定課題となるツープロック		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 公益財団法人日本理容美容教育センター		取組姿勢 達成度合い お客様満足度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)メイク応用		美容学科2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	選択	濱中 佑子
授業の概要				
<p>メイクアップアーティストとして求められるサービス（奉仕・貢献・世話）や、ホスピタリティ（思いやり・やさしさ・歓待）、マナーに関する基本を理解する。・人間性の構築、技術スキルの基本的な流れを学び、基礎的理論の理解、フェイシャルやメイクの技術を取得した総合力を養う。</p>				
到達目標				
<p>相手に合わせたスキントイプ別の状態把握、イメージメイクアップ、メイクアップカルテの作成が出来る。・アーティストとして現場に立つことを踏まえ、プロとしての意識を持つことや接客に取り組む姿勢の自覚を持つことが出来る。・ICAM Lv.1 ICAMベーシックコースの取得が出来る。</p>				
回	テーマ	学修内容		
1~2	・メイクアップの必要性、技術者としての心得・メイクアップ前の下準備と片付けについて・道具の手入れ・ベーシックメイクアップについて・メイクアップの基本プロセス・顔分析	ホスピタリティ、マナーに関する基本を理解する。道具の大切さ、衛生面を徹底的に習得。顔の理想的なバランス、パーツバランスと印象、輪郭と印象を理解		
3~4	皮膚の基礎知識・色の基礎知識。パーソナルカラー	皮膚の基礎知識、メイクアップに必要な色の基礎知識を習得・シーズンカラー別パーソナルタイプによるメイクアップポイントを理解する。		
5~6	・メイクアップ前のスキンケア、クレンジング法・ベースメイクアップ理論	スキンケアやクレンジング方法、ベースメイクアップの流れや種類を習得		
7~8	ベースメイクアップ① 実践	相手への配慮、手順、肌の色調、皮膚感を美しく整えることを習得		
9~10	アイメイクアップ① 理論、実践	アイメイクアップの手順や種類を習得・4種類の基本アイカラーテクニックを習得		
11~12	アイメイクアップ② 実践 アイブロウ 理論、実践	アイライン、マスカラ、ビューラー、アイブロウの形やラインを美しく仕上げる手順や種類、基本テクニックを習得		
13~14	チーク・リップ / ハイライト・シェーディング理論、実践・トータルバランス	シーク、リップ、ハイライト、シェーディングの手順や種類を習得し基本テクニック実践		
15~16	フルメイクアップ①	ベーシックメイクアップを習得		
17~18	フルメイクアップ②	ポイントの強弱、メリハリのあるメイクアップを習得		
19~20	曲線・直線バリエーション①	曲線的なメイクテクニックが与える印象と効果を理解する。		
21~22	曲線・直線バリエーション②	直線的なメイクテクニックが与える印象と効果を理解する。		
23~24	ベーシックメイクアップ実践①	イメージメイクアップ(可愛い・キュート)のメイクの特徴を学修する。		
25~26	ベーシックメイクアップ実践②	イメージメイクアップ(優雅・セクシー)のメイクの特徴を学修する。		
27~28	ベーシックメイクアップ実践③	イメージメイクアップ(優雅・セクシー)のメイクの特徴を学修する。		

29~ 30	ベーシックメイクアップ実践④	イメージメイクアップ（知的・クール）のメイクの特徴を学修する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ ICAM国際ライセンス メイクアップテキスト 【一般財団法人 ICAM日本支部】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末試験</li> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 確認テスト</li> </ul>	40.0% 30.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メイク練習ごとに言われたアドバイスをノートに記録する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) 着付 (前期)		美容学科/2年	2023/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	選択	泉谷 愛子
授業の概要				
着付けに必要な基礎知識を学ぶことにより、着付け師としての技術、技能を監修する				
授業終了時の到達目標				
着付け師が行う留袖着付け、浴衣着付けの技術が身につく。 SBS着付け検定2級取得を目指す。 浴衣や留袖の着付けはもちろん、着付けに関わるマナーや接客の在り方も身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	着付けの概論① 着物の各部名称、帯、小物の名称	着付けの理論と技術 着物の種類と季節によって変わるマナー		
3~4	襦袢の半襟をつける 着物のたたみ方①	襦袢の半襟を付け直す 洗濯してきれいなものを付ける		
5~6	小物の使用方法 着物のたたみ方②	片付け方と使用方法のレクチャーと実践練習		
7~8	留袖着付け① 補正作り方	体型補正 (レクチャーと実践練習)		
9~10	留袖着付け② 補正作り方	体型補正 (レクチャーと実践練習)		
11~12	留袖着付け② (体型補正)	体型補正 (レクチャーと実践練習)		
13~14	留袖着付け③	準備→補正→肌襦袢 (レクチャーと実践練習)		
15~16	留袖着付け④	準備→補正→肌襦袢→長襦袢 (レクチャーと実践練習)		
17~18	留袖着付け⑤	準備→補正→肌襦袢→長襦袢→着物 (レクチャーと実践練習)		
19~20	留袖着付け⑥	準備→補正→肌襦袢→長襦袢→着物→帯結び (レクチャーと実践練習)		
21~22	留袖着付け⑦	準備→補正→肌襦袢→長襦袢→着物→帯結び (レクチャーと実践練習)		
23~24	留袖着付け⑧	準総合的に最初から最後まで仕上げる 分からないところをピンポイントで指導していく		



回	テ ー マ	内 容		
25～ 26	留袖着付け⑨	準備→補正→肌襦袢→長襦袢→着物→帯結び（レクチャーと実践練習）		
27～ 28	留袖着付け⑩	準備から最後までタイムトライアル②		
29～ 30	留袖着付け⑪	SBS着付け検定2級合格にのっとりタイムトライアルで実践練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論2（公益財団法人 日本理容美容教育センター） SBS着付け検定テキスト（全美連） 着付け道具一式		実習・実技評価 授業態度	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) ブライダルスタイリスト実務Ⅱ (通年)		美容学科/2年	2023/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	選択	泉谷 愛子
授業の概要				
<p>ブライダルスタイリストとしてコンセプトウエディングを理解し、新郎新婦の希望するテーマに沿ったスタイルを提案するための知識・スキルを学修する 2年間の集大成として、自分がデザインする作品の制作・発表を実施する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>コンセプトに沿ったヘアメイクのスタイル提案ができる。 チームで取り組むことにより、チームワークのスキルを向上する。 自分自身のイメージを作品として表現できるようになる。</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する			
時間外に必要な学修				
作品作りに向けた準備を行う				
回	テーマ	内容		
1~2	コンセプト設定	チームごとに自分たちが作る作品のコンセプトを設計する。		
3~4	コンセプトの具現化	設計したコンセプトに基づき、試作、作品作りのための準備を行う。		
5~6	作品作り・写真撮り	設計したコンセプトに基づく作品作り。 フォトウエディング形式で写真撮影		
7~8	作品発表の準備	チームごとに作品発表に向けてプレゼン材料を整える (模造紙、スライドショー、映像などなど)		
9~10	作品発表会	各チームでの作品発表		
11~12	卒業展示に向けた作品イメージ固める	2年間の集大成として、卒業展示に向けた個々の作品イメージを固める		
13~14	作品イメージの具現化	卒業展示作品作りに向けた準備		
15	作品作り・写真撮り 卒業展示の準備	卒業作品の制作・写真撮影 展示作品を制作		
		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式、メイク道具一式		作品評価 授業態度	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(美容演習) クリエイティブスタイルⅡ (前期)		美容学科/2年	2023/前期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	田中美紀/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/表康子
授業の概要				
GBC (グローバル・ビューティー・コンGRESS) にも通ずる。イメージコンバージョンを使った、モデルの似合わせ技術。 一人一人個性の違いを見つけ出し、タイプ別にヘアー、メイク、衣装を考察する。				
授業終了時の到達目標				
即戦力となる為、必要な技術の習得を実現する。 撮影技術と共にトータルビューティーの基礎を身につける事が出来る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 滝口・泉谷・表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	クリエイティブスタイル① (ウィッグによるデモンストレーション)	イメージコンバージョンを使ったスタイル展示。 デモンストレーションで目を使った学習。		
3~4	クリエイティブスタイル② (ウィッグのデザイン画を起こす)	イメージコンバージョンを使ったデザイン画作成。 目と指と頭を使って、紙に書く (スタイルブックを参照)。		
5~6	クリエイティブスタイル③ (ウィッグで作ってみる)	デザイン画をもとにヘアスタイル作品作り。		
7~8	クリエイティブスタイル④ (イメージを想定)	トータルバランスを考察。モデルの顔かたち、身長、その人の持つ雰囲気合わせたデザイン。		
9~10	クリエイティブスタイル⑤ (モデルを使ったデモ)	イメージコンバージョンを使ったスタイル展示。デモンストレーションにより、似合わせのテクニックを考察。		
11~12	クリエイティブスタイル⑥ (ヘア・衣装・メイクのデザイン画)	イメージコンバージョンを使ったデザイン画作成。始めは2Dでヘアの設計図を起こす。		
13~15	クリエイティブスタイル⑦ (モデルを使って作品作り) コンテスト	デザイン画をもとにヘアスタイル作品作り トータルバランスを考察。作品を360度から見る。 真似のない自分のバランス感覚を養う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 (公社) 日本理容美容教育センター		実習・実技評価 課題・レポート	70.0% 30.0%	授業の前後には予習、復習して習熟を図る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(美容演習) フォト撮影 (前期)		美容学科/2年	2023/前期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	田中美紀/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/表康子
授業の概要				
「サロンに通用する人材」をテーマに行う。美容師の幅を広げる狙いで、フォトの授業を行う。サロンフォト、クリエイティブフォトを通し、フォトコンに参加。				
授業終了時の到達目標				
即戦力となる為、必要な技術の習得を実現する。 撮影技術と共にトータルビューティアーの基礎を身につける事が出来る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 滝口・泉谷・表は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	フォト撮影① (撮影技術を見る)	学外コンテストに向けて、デモンストレーション/解説/モデル決定。合わせて大会のコンセプトを知る。		
3~4	フォト撮影② (イメージを作る)	学外コンテストに向けてモデル決定・絵コンテ作成 モデルを見て、ヘアデザイン・衣装、メイクを考える		
5~6	フォト撮影③ (イメージ・作品を固める)	学外コンテストに向けて、絵コンテ最終仕上げ フォトの構図・色・バランス・加工方法を仕上げる。		
7~8	フォト撮影④ (実際に撮影)	学外コンテストに向けて準備物を用意・仕込み・撮影 スマートフォンを使って撮影・加工 (サロンスタイル)		
9~10	フォト撮影⑤ (実際に撮影)	学外コンテストに向けて準備物を用意・仕込み・撮影 スマートフォンを使って撮影・加工 (クリエイティブ①)		
11~12	フォト撮影⑥ (実際に撮影)	学外コンテストに向けて準備物を用意・仕込み・撮影 スマートフォンを使って撮影・加工 (クリエイティブ②)		
13~15	フォト撮影⑥ (コンテスト出品作品を作成)	学外コンテストに向けて準備物を用意・仕込み・撮影 撮影機材を変えて撮影。 Aグループ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 (公社) 日本理容美容教育センター		実習・実技評価 課題・レポート	70.0% 30.0%	授業の前後には予習、復習をして習熟を図る事。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接遇・マナー（前期）		美容学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小島 光世

## 授業の概要

この授業では、ビューティ・コーディネーターに必要なカウンセリング知識、マネジメント知識、トータルビューティに関する知識を学習し、jbca2級合格程度の知識の習得を目指します。

## 授業終了時の到達目標

- ・ビューティ・コーディネーターとして必要なカウンセリングの知識が習得できる
- ・サロンマネジメントに必要な経営やマーケティングの知識が習得できる
- ・トータルビューティに関する知識が習得できる

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有

美容サロンで20年近く勤務し、また店長として5年以上運営及び経営に従事する。

## 時間外に必要な学修

講義ノートなどにより、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること

回	テーマ	内容
1	jbca概要とビジネス実務検定復習	ビューティ・コーディネーターのサロンにおける役割の再認識と2級学習に必要な既習知識を復習する
2	ビューティ・コーディネーターの役割と仕事、カウンセリングの基本	ライフコーディネーターとしてのビューティ・コーディネーターの役割を理解する
3	入店からカウンセリング	実際のお客様の流れに合わせて、入店からカウンセリングを実施する際の注意事項や具体的な内容を学ぶ
4	カウンセリングの技術と次回予約	カウンセリングの際の注意事項やカウンセリングの流れとポイントを学習する
5	カウンセリングのための応用技術①	施術が終わった後の店販商品の進め方また、クレーム対応の注意事項や手法を学ぶ 実際の美容カルテを使用しカウンセリングを行う
6	カウンセリングのための応用技術②	お客様のタイプに合わせカウンセリングの技法やファッションスタイル別の評価について学ぶ
7	サロンオペレーションとチームワーク	サロン運営を円滑に行うための自身の在り方、チームワークとリーダーシップについて学ぶ
8	サロンオペレーションの向上	サロンオペレーション向上のための具体的な手法として社内連携、社外連携、マニュアルについて学ぶ
9	社内トレーナーに必要な心構えとスキル	社内教育の基本的な手法、考え方を学び、自身がトレーナーになるための知識を習得する
10	店販商品の販売促進	店販商品のディスプレイの基本的な考え方、popの作成ポイントなどを学ぶ
11	サロン顧客データの管理	サロンとしての顧客管理方法、個々の顧客へのアプローチの手法を学ぶ
12	トータルビューティメニューの知識	お客様にトータルでメニュー提案できるように、トータルビューティメニューについて知識を深める

回	テ ー マ	内 容		
13	ホームケア商品の知識	お客様にホームケア用品を提案できるように、ホームケア用品に関する知識を深める		
14	問題演習①	問題演習と解説を通してカウンセリングについて学習内容の理解を深める		
15	問題演習②	問題演習と解説を通してサロンマネジメント、トータルビューティーに関する学習内容の理解を深める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
jbca2級テキスト		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	